

## もの言う牧師のエッセー 第243話

## 「その時、父が動いた」

デジタルネイティブ世代にとって、セルフィーを撮ってインスタグラムに投稿するのはごく自然な行為。しかし、もし自分の娘がセクシーな自撮り写真を投稿したら？ 米ワシントン州で活動するコメディアン、マーティンさんは、娘のキャシーがセクシーすぎるセルフィーを全世界に向けて発信していることを知った。しかし、「そんな写真をポストするのはやめろ」と言えば、悲しいかな、娘は反発するに決まっている。かと言って見ないふりをするわけにもいかない。

その時、マーティンさんは驚くべき行動に出た。言葉で注意する代わりに、なんと娘と同じポーズで写真を撮り、娘のセルフィーと並べてセルフィーを投稿したのだ。娘がへそ出しTシャツからお腹のタトゥーを見せたセルフィーを投稿すると、父は普通のTシャツをたくし上げ、お腹にマジックで犬のタトゥーを描き、同じようにセルフィーを撮った。娘が極太のキャットラインにつけまつげを付けたメイクを披露すると、父はマジックで目の周りを塗りつぶした。娘が胸に大きく入れたタトゥーを強調し、顔認証アプリで頭に草冠を合成すれば、父は外で拾ってきた葉っぱを頭に載せ、またしてもマジックでタトゥーを描いて対抗した。マーティンさんの試みは US ウィークリー誌の取材を受けるほど話題となり、娘のキャシーは「お父さんがソーシャルメディアで嫌がらせしてくるんだけど」と言いながらも同じ写真を自分のフォロワーに紹介。「パパはうちの中で最高のコメディアンなの。だからあの写真を撮り始めた時はめっちゃめっちゃ笑ったわ」とまんざらでもない様子。マーティンさんは、子供たちとソーシャルメディアを巡る問題に体を張って一石を投じたと言える。

キリスト・イエスは、十字架にかかる前、その弟子たちに対し、自身が十字架にかかってから3日後に復活することを預言すると同時に、パレスチナ北部にある自身たちの拠点ガリラヤへ行って復活後の自分に会うように指示を出した。が、誰も行かなかった。イエスが死んだものと思い込み、多くの者が敵を恐れてエルサレムに引きこもった。それどころか、ある2人の弟子たちは無関係な町へと“トンズラ”を開始。その時、

「ちょうどこの日（復活の日）、二人の弟子が、エルサレムから十一キロメートル余り離れたエマオという村に行く途中であった。そして、二人でこのいっさいの出来事について話し合っていた。話し合ったり、論じ合ったりしているうちに、イエスご自身が近づいて、彼らと共に道を歩いておられた。」

ルカの福音書 24章 13-15節、

とあるように、イエスは不従順な弟子たちの前に現われた。しかもイエスは弟子たちを叱りつけたりせず、何と彼らと一緒に10キロ近くの道を“話し合い”に付き合い、優しく語りかけられたのだった。いかがわしいことを禁止したり非難したりするのはたやすい。しかし人類の創造主である父なる神は、その御子キリストを通して、我らを愛し、寄り添い、とことん付き合ってくださいなのだ。

2016-7-15

therealburmartin · 4日前

+フォローする



Took me 3 days to get all the ink off lol

いいね！ 1,085件   コメント 83件

Instagram

therealburmartin · 1週間前

+フォローする



My daughter posted another #selfie #naledit #baddad

いいね！ 1,372件   コメント 161件

Instagram